

事務事業評価資料

施策名	商店街活性化・まち再生の推進		所管部局課名	産業労働部産業振興局経営商業課							
事業名	商業施設魅力アップ支援事業		担当者電話番号	商業施設係 078-362-4165							
事業目的	商店街の美観形成と昼夜の回遊性向上に寄与する店舗の外観改修を支援することにより、商店街の魅力アップと賑わい創出を図る。										
事業内容	(1) 補助対象者 商業施設所有者 (2) 対象工事費 シャッター交換、防火ガラス等ショーウィンドー改装、LED照明設置等 (3) 補助率 1/4 (4) 補助限度額 2,500千円			事業開始年度	平成22年度						
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額					
	事業費	(0千円) 0千円		(0千円) 0千円		(5,000千円) 5,000千円					
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	820千円 従事人員 0.1人					
	総コスト (+)	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	5,820千円 従事人員 0.1人					
事業の目標	補助件数	[目標設定理由] ・商店街の美観形成と昼夜の回遊性向上に寄与する店舗改装を支援する事業であるため、補助件数を目標とする。									
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)				
		目標値	年度				H20	H21	H22		
	補助件数	8	25年度	-	-	2 (2,910千円)	-	-	25%		
評価結果	必要性	・多くの商店街において魅力低下が指摘される状況にあるため、店舗の外装改修によって商店街の美観形成や街並みイメージの統一を行い、商店街全体のイメージ向上やブランド価値を高めていく必要がある。									
	有効性	・商店街内に事業実施店舗を一定数確保することにより、商店街全体の取組への進展が期待される。									
	効率性	・補助対象経費の相見積もりを補助要件として挙げ、当事業の効率性の確保及び総事業費の圧縮を図る。									
	民間・市町との役割分担	・地元商店街との密接な連携のもとで事業の推進を図る。									
	受益と負担の適正化	・個別営利性が比較的高い支援であるため、事業者へは3/4の負担を求める。									
実施方針	方向性	新規		拡充		継続		実施手法の見直し			
		廃止		縮小		統合		凍結(休止)		延長	終期設定
	実施手法の見直し内容	市町移譲		民間移譲		民間委託		PFI		負担割合変更	事務改善
説明	商店街店舗の外装改修を通じて商店街全体の魅力アップと賑わい創出を図るため、新規に実施する。										